

第42号

令和元年11月1日(2019年)

9月定例会

あんじょろ 市議会だより

主な内容

- 2頁 議案質疑
- 6頁 委員会・部会の活動状況
- 7頁 一般質問のあらまし
- 12頁 議案などの審議結果
- 14頁 行政調査報告

表紙作品は安城学園高校美術部から提供していただきました。詳細は裏表紙をご覧ください。

平成30年度決算を認定

一般会計の実質収支は、37億円の黒字

9月3日、26日に行われた本定例会では、平成30年度決算について集中審議を行いました。

議案質疑・委員会審査における主な質問などを掲載します。
なお、金額は決算額です。

総務企画関連

■ホームページ（望遠郷事業）361万円余

問 市公式ウェブサイト（望遠郷）の、さらなる活用促進について市の考えは。

答 スマートフォンやSNSの普及によって情報媒体が多様化しており、様々な媒体による情報発信が重要であると考える。LINEによる情報提供の充実もその一つであり、必要な人に必要な情報を届ける仕組みを、この10月から運用開始する。これは、広報あんにように掲載している記事を8つに分類し、自分がほしい分類の情報のみをLINEでお知らせし、

市公式ウェブサイト上に掲載されている詳細情報に誘導するというもの。

また、本年度、AIを活用した総合案内サービスの実証実験を予定している。これは、パソコンやスマートフォンの等による住民からの問い合わせにAIが対話形式で応答し、先ほどのLINEと同様、最終的に詳細情報が掲載されている市公式ウェブサイトへ誘導する仕組み。この様に、情報を提供する媒体が多様化しても、最終的には市公式ウェブサイトを見ていただくように、詳細情報を集約していきたい。



■滞納整理事業／2960万円余

問 30年6月から運用が始まった市税コールセンターの成果は。

答 市税コールセンター導入の成果は2つ。1点目は、電話や文書での催告により、納付件数が約1.

4倍、納付金額が約2.2倍に増加したこと。

2点目は、職員が差押え等の業務に注力できるようになり、差押件数が約1.5倍、換価金額が約1.7倍に増加したことである。

福祉環境関連

■子ども発達相談支援事業／5207万円余

問 子ども発達支援センター「あんステップ」は、各施設に分散していた機能を1箇所に集約し1年が経過したが、市としてどんな点の評価するか。また課題は何か。

答 2つの点で評価している。1点目は利便性の向上が図られた。新たに医師相談のほか、相談支援専門員による福祉サービス利用のプラン作成まで行い、利用者からは「発達相談と放課後デイサービスなどの福祉サービス利用についても一度に相談できて良かった」、「医師のアドバイスまで聞けて安心した」などの声をいただいている。2点目は支援の充実。発達障害児の支援としてペアレントプログラムや、SST（※）教室を新たに

実施した。参加者からは、「子どもを怒ることが減り褒めるようになった」、「子どもが言葉で伝えようとする意欲が出てきた」などの感想があり、今後も継続の必要性を認識している。

課題は、医療的ケアが必要な子どものサービスやインターネットや18歳になってからも進路が決まらないケースなどの課題が見えてきた。近年、障害が多様化・重症化する傾向にあり、分野を超えた協力体制が一層必要とされることから、関係機関の連携強化を図りつつ、解決していきたい。



※SST（ソーシャルスキルトレーニングの略）：社会生活技能訓練。

■ごみ焼却施設管理事業／12億7204万円余

問 次期焼却施設の処理能力は1日あたり200t程度の規模と聞いているが、現在の施設が240tの処理能力であることから、新

しい施設は能力が減少する計画に見えるが大丈夫か。

答 令和14年度稼働開始を目指す次期焼却施設の規模は現時点で200t〜210t程度を想定しているが、ごみ発生量は社会情勢の変化に大きく影響を受けるし、近年話題となっている廃プラスチック問題など、今後の焼却炉への負担増加が懸念される問題も発生している。

こうした状況を踏まえ、次期焼却炉の処理能力については、建設コストを含め、「廃棄物処理施設整備基本構想」の中で改めて検討していきたいと考えている。

市民文教関連

■防災設備整備事業／1億1883万円余

問 防災倉庫の設置状況について伺いたい。

答 平成31年3月末時点において市内の避難所などに防災倉庫を設置している。内訳は指定避難所49箇所、福祉避難所8箇所、特定福祉避難所15箇所ほか臨時避難所のアンフォーレ、安城学園高校及び物資集積拠点のJAあいち中央総

合センター隣接地の計75箇所。未設置の指定避難所5箇所は中央防災倉庫などから物資輸送し、未設置の特定福祉避難所3箇所は資機材・備蓄物品を施設内に保管する等の対策をする。



■防犯設備支援事業／1506万円余

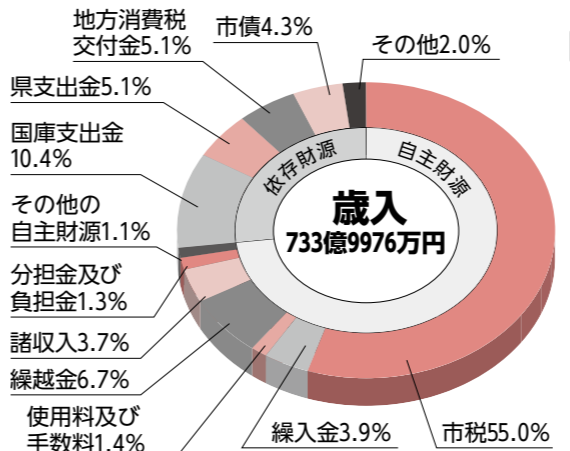
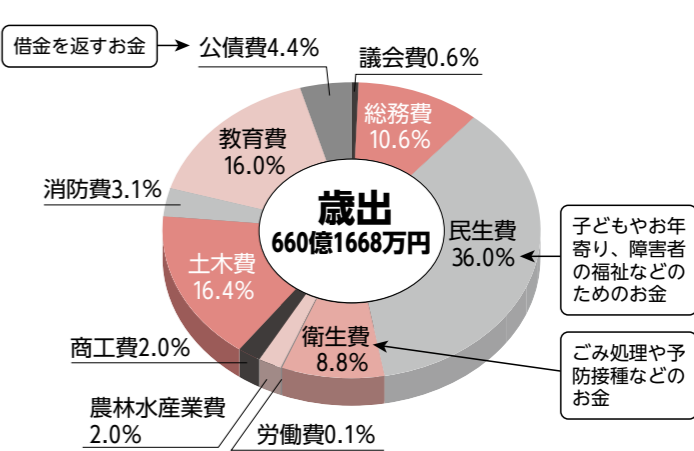
問 防犯灯LED化2000基の各町内会への設置のスケジュールは。

答 今年11月末までに設置場所を町内会に決定していただき、令和2年度業者委託により設置場所の現地調査を実施し、令和3年度、受注者を決定し令和3年度末までに新規設置を完了する予定。

■要保護及準要保護児童就学援助事業／4165万円余

問 小学校の新入学用品費の支給

平成30年度一般会計決算



会計名(事業)	歳入	歳出
国民健康保険	158億7387万円	143億4681万円
土地取得	75万円	20万円
有料駐車場	4億1634万円	1億8911万円
下水道	45億281万円	41億8163万円
農業集落排水	6552万円	5887万円
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	23億255万円	22億177万円
介護保険	99億3866万円	96億3043万円
後期高齢者医療	19億8537万円	19億7595万円

一般会計…行政の基本的な経費を市税などを主な財源として経理する会計
特別会計…事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計

◆水道事業会計 (千円以下四捨五入)

区分	収入	支出
収益的収支 ※経営活動により発生する収支	33億 9988万円	27億 5843万円
資本的収支 ※施設を建設・整備するための収支	4億 9740万円	25億 373万円

人数は、29年度62人から30年度135人と2倍に増加したが、この理由は。

答 新入学用品費の支給対象は、従来は在学者に限られていたが、30年度から次年度入学予定者も対象となった。このため、30年度は、30年度入学児童63人と31年度入学予定児童72人を合わせた135人となったものである。

産業建設関連

■農地流動化促進事業／534万円余

問 畑・樹園地お見合いシステム及び利用促進制度の概要は。また、利用手続はどうか。



答 耕作者の高齢化や代替わり・後継者不足などによって、耕作ができない人が、集落内に介在する畑地や樹園地の貸し手として「システム登録農地台帳」に登録し、定年退職後の方、野菜作

りがしたい方、将来は農家になりたい方など、借り手側が台帳を見て自分に見合う土地を探すと、本市独自のマッチング制度。小規模な畑などを貸したい人、借りたい人は市農務課のほか、安城市内のJ A各支店、営農センターで申請・登録及び閲覧ができる。条件に見合う土地があれば、必要な申請書類を提出し、設定の手続きを行う。

■中心市街地活性化推進事業／1979万円余

問 中心市街地にぎわいづくり指針作成業務の内容と成果は。また、その後の展開は。

答 商店街関係者・中心市街地の活性化に関心のある人を対象に、7回ワークショップを開催。街歩きし、魅力や課題を洗い出し、それぞれが描く理想的な未来像に近づける取組みを考え、指針を決定した。

また、中心市街地について考えの共有ができ、新たな担い手を見いだし、「子育て中のお母さんが利用しやすいくなる店のサービスやメニューの考案」など4つの取り組みを実施した。安城まちなかフューチャーセッ

安城市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定

問 実際に派遣している公益的法人があれば、その派遣先はどこか。また、派遣期間はどのくらいで、何人派遣しているか。

答 現在、社会福祉法人社会福祉協議会へ6人、公益財団法人安城市農産振興協会へ3人派遣している。また、派遣期間は、3年を超えない範囲内としているが、市、派遣先及び本人の同意を得た場合は、派遣した日から引き続き5年を超えない範囲内で派遣を延長することができる。

令和元年度補正予算

- 一般会計8億2708万円を追加
- 繰越明許費2525万円を追加
- 債務負担行為2850万円を追加

■ファミリー・サポート・センター事業／14万円

問 今回の補正予算は、幼児教育・保育の無償化にファミリー・

サポート・センター事業が対象になることから要求したと聞いているが、この補正予算の内容は。

また、この事業の活動における保育園・幼稚園の送迎は保育の無償化の対象になるか。

答 補正額は、1日8時間を利用した場合、提供会員への報酬額が1時間当たり600円で、30件の利用を想定して算定している。30件の利用想定は根拠は、平成30年度の本事業の全活動実績3685件の中に、5歳児までの保護者の短時間・臨時的就労の場合の預かりが63件あった。この利用実績が無償化の対象となるか判断できないため、約半分にあたる30件の利用を見込んだ。



保育園・幼稚園の送迎については、送迎のみは無償化の対象にならない。なお、預かりと併せて利用される送迎については、一体的に行われることから対象となる。

■東京2020オリンピック聖火リレー実施事業／850万円

問 安城市における東京2020オリンピック聖火リレーのラン

ションおしゃべり会を毎月1回開催。小学生歌手がギターの弾き語りを紹介しながら2分程度の替え歌で店を紹介する「ミスターは知っている！」という動画を作成し、ユーチューブでの発信を7回行った。



主な議案と審議

条例関係議案

安城市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例の制定等

問 地方公務員の臨時・非常勤職員について、臨時的任用などの適正化を確保するとともに、一般職の会計年度任用職員の任用などに関する制度の明確化と給付の規定を整備することを目的とした地方

ナーの選定及びミニセレブレーションについて伺いたい。

答 聖火リレーは2020年4月7日(火)に実施予定。聖火ランナーは愛知県実行員会と東京2020オリンピック聖火リレープレゼンディングパートナー4社が公募し、同実行委員会、パートナー各社が推薦ランナーも選定すると聞いており、今年12月以降に順次通知される予定。

ミニセレブレーションは聖火の到着を祝う20分程度のイベントで地域の特色あるプログラムを実施。今後、愛知県実行委員会など関係者と協議し決定する。



■交通安全広報活動推進事業／1900万円余

問 高齢者自動車急加速制御装置設置費補助金の内容と対象者が市内在住70歳以上の自動車運転免許証保有者であるが、本市に何人いて、月当たりどれくらいの補助台

公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、本市の関係する条例が改正される。この改正で、現在任用されている臨時職員などの職員がどの様な任用に移行するのか。

答 地方公務員法第3条第3項第3号に基づく特別職非常勤職員は、専門的な知識経験等に基づき、助言・調査等を行うものに限ると厳格化され、行政連絡員と交通指導員が非該当になる。交通指導員は会計年度任用職員に移行し、行政連絡員はその業務を郵送と委託していく方向。

地方公務員法第17条に基づく一般職非常勤職員は、本市では社会教育指導員や臨床心理士などの嘱託職員にあたるが、この職員は会計年度任用職員に移行する。

地方公務員法第22条に基づいて任用している臨時職員は、その内の少人数が級市費負担教員は任期付職員に移行し、それ以外の臨時職員は会計年度任用職員に移行する。



数を見込んでいたのか。また、予定以上に申込があった場合はどうするか。

答 本市の70歳以上で自転車運転免許証を保有している人数は、約1万6千人で、基本的には、月当たり約60台の補助台数を見込んでいたが、制度開始当初は申請が集中することが想定されるので、約80台を見込んでいる。予定以上に申し込みが殺到した場合は、補正予算を組むことなども視野に入れて対応を検討する。



■企業立地推進事業／5億円

問 榎前工業団地の廃棄物撤去費として、3月補正予算で3億5千万円、さらに9月補正予算で5億円を要求しているが、この理由は。また、県企業庁が造成工事を行うのに、市が廃棄物撤去費を負担する理由は。

答 3月補正予算では、掘削した土はふるい機で土と廃棄物に分別し、土は埋め戻しに利用する計画だった。しかし、実際には、土の

一般質問のあらまし

10人の議員が44項目の一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁の要旨を掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録(11月下旬掲載予定)や録画映像でご覧いただけます。

代表質問、一般質問や閉会日はライブ中継を実施しています。次回の日程については裏表紙をご覧ください。

市議会のウェブサイト⇒ [安城市議会](#)



スマートフォンやタブレット端末からも
各議員の代表質問や一般質問の録画映像をご覧いただけます。

【映像配信】



【会議録】



QRコードを読み取って
ご覧ください。
※パケット・通信料が
かかります。

■通学路整備事業／800万円
問 通学路整備の内容は。また、通学路を利用する児童生徒の数は。
答 今年度に入り、里町の主要地方道名古屋岡崎線が開通する見込みとなり、東山歩道橋の周辺の通学路変更を行うもの。整備内容は、既設道路に緑色の通学路力



粘性が高く、ふるい分けができず、全量を廃棄物として処分せざるを得なくなった。このため、不足する費用を要求した。
また、市が廃棄物撤去費を負担するのは、4haを超える農地の早期開発は県企業庁しかできず、県企業庁と市との取決めのため。

問 緑越明許費補正の概要と理由は。また、事業の完遂に向けた計画は。
答 都市計画道路路桜井北線において、今年度に施工予定の交差点改



●安城桜井駅周辺特定土地地区画整理事業特別会計 緑越明許費5500万円を追加。



ラー標示、交差点部分に注意喚起の赤色カラー標示、通学路の側溝蓋など。利用する児童生徒数は、里町小学校が74人、東山中学校が20人である。



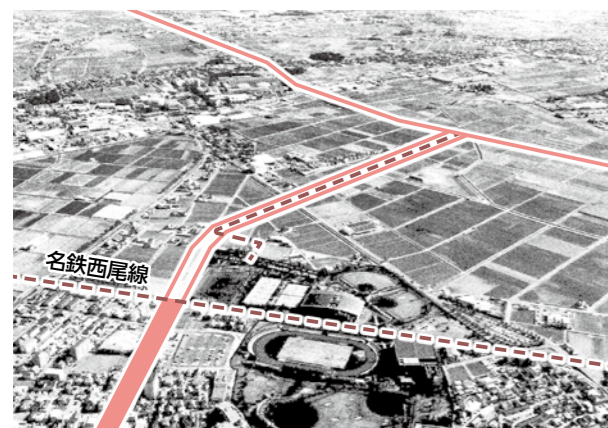
豊田安城線の予定地

問 安城市のソフトボール場はアジア競技大会の会場予定地になっており、多くの観戦者が来場されると思うが、主要なアクセス道路となる主要地方道豊田安城線の事業進捗は。
答 ソフトボール会場へは、東側からのアクセスを前提として、市が都市計画道路安城池浦線の整備を愛知県が主要地方道豊田安城線の整備を進めている。

主要地方道豊田安城線の整備について



安城創生会
まつおまなき
松尾学樹議員



未整備区間予定図

問 主要地方道豊田安城線事業の名鉄西尾線高架化に併せ新駅を設置すれば、アジア競技大会も含め競技で訪れる選手や観戦者のアクセス向上、近隣住民などの利便性向上につながるため新駅が必要と考えるが市の考えは。
答 新駅があった方が利用者にとって望ましいが、日常的に利用される駅となると公園利用者に加え近隣住民やそれ以外のニーズも必要と考える。今後の利用者ニーズの検討を進めながら新駅の可能性を研究していきたい。

総合運動公園駅設置について

委員会部会などの主な活動状況

7月	
29日	未来型施設整備研究特別委員会

8月	
5日	総務企画市民文教合同部会
8日	戦略的モビリティマネジメント特別委員会
27日	議会運営委員会・議会改革検討委員会

9月	
3日	総務企画市民文教合同部会
9日	決算特別委員会
11日	産業建設常任委員会・分科会
12日	市民文教常任委員会・分科会
13日	福祉環境常任委員会・分科会
17日	総務企画常任委員会・分科会
20日	決算特別委員会・議会運営委員会・議会改革検討委員会
26日	議会運営委員会

同意案件など

教育委員会委員の任命に同意

9月30日で任期満了となる船尾恭代氏の後任に、久恒美香氏(池浦町)を任命することに同意した。

意見書を議決

9月26日、つぎの意見を国の関係機関又は県に提出することを決めた。

- 「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書」
- 「国の私学助成の増額と拡充に関する意見書」
- 「愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書」

良工事と道路築造工事について、関連工事の遅れ、施工区域内の家屋移転の遅れや埋蔵文化財の発掘調査が見込まれ、緑越明許費の補正とし、年度をまたいでの施工とする。
道路整備や家屋移転、個々の仮換地の確定測量、仮換地面積の過不足による金銭清算、換地処分による登記などの手続きとともに、町界・町名・地番の整理を検討する。



志
しらやまつみ
白山松美議員

三河安城駅南部の市街化拡大計画の進捗状況について

問 平成30年3月以来1年半ぶりの質問だが、進捗状況として現在ほどのようになっているのか。また、今後5年間の予定をお聞かす。

答 土地区画整理事業の認可権者である愛知県と事業の基本構想等について協議を進めており、現況測量調査も進めている。これは、相手のある協議や地権者の同意の収集作業もあり、1年後、3年後の状況を明確に見通すことはできない。



あんくるバスの利便性向上

問 平成29年6月で①本数の増便②快速便③狭い地区で住民同士が助け合う「住民タクシー」④更生病院への直行バス⑤バス停へのベンチ設置についての質問に對して、市はほとんど現状維持と答弁したが、あんくるバス事業の展開を今後どの様にお考えか。

答 平成29年6月定例会直後に市民の公共交通に関する意向調査を実施した。約2割の方が「予算を増やし充実すべき」、同じく2割の方が「費用を抑え負担を減らすべき」、残り過半数が「現状程度でよい」との回答だった。

サービス水準を維持しつつ、ダイヤ改正やルートの見直し等を行い利便性の向上に努めている。



あんくるバス



安城創生会
しらやまこ
白谷隆子議員

女性の働き方改革に伴う子育ての支援について

問 兄弟姉妹が同じ保育園(こども園)に通える配慮は出来るか。

答 入園は、保育の必要度を点数化し、兄弟姉妹の入園には加点をして高い順に決定している。来年度からは年少組になる段階で新入園の子と一緒に再度



利用調整するため、同じ園に通える機会になると考えている。

問 サルビア学園の利用時間、利用日数を拡大する考えはあるか。

答 現状では、サルビア学園に預ける前後の時間はファミリースポーツセンター事業や日中一時支援の福祉サービスが利用できる。拡大には子供の発達段階に応じた療育の見直しと保育士の確保が

必要であり、現時点では考えていないが、春休み期間の預かり保育について、令和2年3月から実施できるように考えていく。

問 夏休み中に子供たちの安全な居場所を確保できないか。

答 児童クラブに代わる施設や方策は見出せないが、補完する方策、公共・民間施設の活用を研究する。

アンフォーレの駐車場について

問 なぜ民間が管理運営しているのか。

答 民間収益施設と一体的に整備することが合理的と判断したため。

問 使い勝手が悪いと聞かすが、改善ができるか。

答 駐車場警備員の増員やセンタラインの増設、エレベーター表示の改善を事業者に要請していく。



アンフォーレ駐車場



安城創生会
いしかわいくこ
石川郁子議員

水害対策について

問 中心市街地周辺の水害の対策と取組みについて伺いたい。



答 内水対策総合計画を策定。大雨が降った時に約65,200㎡の雨水を一時的に貯められ、計画貯留量の全体に対し78%の貯留量となっている。浸水の危険性のある町内会の住民が過去に経験した水害や大雨の時に注意すべきことを書込みいざという時に一目でわかる地図にする取組みを行っている。

福祉の相談窓口と役立つ手引書について

問 高齢者、障害を持った方、二子、ひきこもりなど様々なケースに対応する今後の見守り活動と便利な手引書について伺いたい。

答 町内福祉委員会の見守り活動の中で高齢者だけでなく色々な困りごとがある場合、地域包括支援センターや見守り活動の支援を担当する地区社会福祉協議会の職員が相談を受け、適切な専門機関につなげていく。また便利な手引書として認知症や在宅医療についてのガイドブックがある。



小中学校におけるトーチトフリリング(火の舞)の改善について



志
ながたあつし
永田敦史議員

問 名古屋市内の中学校で火を使ったトーチトフリリングの練習中に生徒が大火傷を負うという大きな事故が起きた。安城市としても子どもたちの安全を第一に考え、改めて、現状調査、再検証、再検討等を実施すべき。

答 ①小学校19校、中学校7校で実施。②火のトーチトフリリングでなければならぬ理由は緊張感や乗り越えるハードルの高さが違う。③市として統一したマニュアルはない。④今回改めて調査したところ、練習中にやけど等のケガが1校2人。トーチ棒の火のついた部分が飛ぶなどの事故が6校あった。

問 安城市内においても実際にやけどを負った児童がいるなど事故が起きています。また、統一したマニュアルなど安全管理体制が万全とは言えない。名古屋での事故の

後に調査や再検証していないなど危機意識が欠如している。火を使ったトーチトフリリングでなければならぬ合理的、論理的、必然性のある納得できる理由はなく、それらと子どもたちの身の危険を引き換えにするべきではない。今のまま子どもたちが直接火の危険に身を晒すという火を使ったトーチトフリリングを継続するべきではなく、LEDやケミカルライト等安全なトーチトフリリングに替え「火の舞」から「光の舞」にするなど改善すべき。

答 教育委員会の定例会でも取り上げるなど、これからの実施方法等について検討をしていきたい。

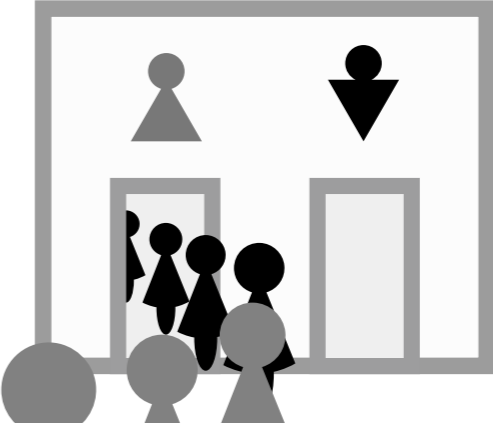


9月定例会に提出された案件		結果	安城創生会	公明党	みらいの風	志	新社会	共産党
第103号	市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第104号	市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第105号	市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第106号	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第107号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第108号	市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第109号	市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第110号	市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第111号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第112号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第113号	パートタイム会計年度任用職員の報酬等及び費用弁償に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第114号	フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第115号	福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第116号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第117号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第118号	市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第119号	市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第120号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第121号	総合斎苑の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第122号	消防団条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第123号	水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第124号	令和元年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	×	×
第125号	令和元年度安城桜井駅周辺特定土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第126号	令和元年度下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第127号	財産の取得(北部学校給食共同調理場移転建設用地)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第128号	平成30年度水道事業剰余金の処分	原案可決	○	○	○	○	○	×
陳情	第1号 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	不採択	×	×	×	△	○	○
同意	第4号 教育委員会委員の任命	原案同意	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	第5号 新たな国民負担(税負担)に伴う厚生年金への地方議会議員の加入に反対する意見書	原案否決	×	×	○	○	○	○
	第6号 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	原案可決	○	○	×	×	×	×
	第7号 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第8号 愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○

◎議案名と会派名は、一部省略して記載しています。(公明党⇒公明党安城市議団、共産党⇒日本共産党安城市議員団)

問 アンフォーレ1階の女性トイレの混雑解消策は。

答 来年は、七夕まつり会場案内図のトイレの表示をより分かりやすくするとともに、アンフォーレ周辺のトイレ協力店の増設、アンフォーレ屋外におけるより快適な女性専用仮設トイレなども検討する。



市および教育委員会のイベント後援について


問 後援承認したチラシの公民館への配布方法は。

答 一般的には申請者が直接、チラシを置きたい公民館へ配布しているが、文化センターでチラシを預かり、各公民館へ配布できることも後援申請の承認時に周知する。

児童クラブの施設について

問 来年度から西部小学校だけ、クラブ専用教室がなく、家庭科室などの特別教室との併用になるが、その対応は。

答 西部小学校におけるクラブ専用の建物については、学校をはじめ関係部署と検討する。





七夕まつりについて

9月定例会 議案などの審議結果		結果	会派別賛否 (○賛成、×反対、△賛否双方あり)					
9月定例会に提出された案件		結果	安城創生会	公明党	みらいの風	志	新社会	共産党
認定	第1号 平成30年度一般会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	×	×
	第2号 平成30年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	×	×
	第3号 平成30年度土地取得特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○
	第4号 平成30年度有料駐車場事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○
	第5号 平成30年度下水道事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○
	第6号 平成30年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○
	第7号 平成30年度安城桜井駅周辺特定土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○
	第8号 平成30年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	×	×
	第9号 平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	×	×
	第10号 平成30年度下水道事業会計決算	原案認定	○	○	○	○	○	×
市長提出議案	第99号 附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第100号 一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第101号 市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第102号 市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×

産業建設常任委員会

《7月10日～12日》

兵庫県南あわじ市

『道の駅うずしおの運営について』

一時は赤字に陥ったがこの10年間で年商8億円から14億円に再生。ポイントとして現地できかない体験、印象的で分かりやすいポップによる商品展示をしている。情報発信も専属2名の社員でHPを更新。「馬鹿げたことを真剣にやる」という社長の話から、失敗と工夫を繰り返し成長していると分かった。常にお客のニーズを求め、日々新しい取り組みをする点は参考にした。

高松丸亀町商店街振興組合(香川県高松市)

『高松丸亀町商店街におけるまちづくり戦略について』

バブルの影響で地価が高騰し、郊外へ人が流れ、大型店舗出店により危機的状況にあったが、前例のなかった民間主導による再開発を実施。商店だけに限らず、マンションや病院、介護施設、ホーム

センターなどのライフインフラを再整備。定住人口の回復、高齢者や障がい者が車に依存することなく安心安全に歩いて暮らせるまちをつくらせている。客を取り返すのではなく居住者を取り戻すという考えを参考にしたい。

NPO法人スローソサエティ協会(兵庫県姫路市)

『姫路駅北駅前広場の整備と運営について』

交通機能を優先し駅から商店街への動線を塞いでしまう整備計画に対し、商店街連合会等から複数の代替案が提示され、市民参加のプロセスを積極的に取り入れた官民協働での取り組みが始まる。行政には任せておけない、自分で自分のまちをつくる、という情熱を持った人たちの連携が、新しい駅前整備へ繋がったと強く感じる。



視察の様子



視察の様子

総務企画常任委員会

《7月17日～19日》

三重県津市

『交通系ICカードによるマイナンバーカード取得促進について』

津市では、高齢者を支援するため、市内在住の65歳以上の人を対象に、マイナンバーカードの取得を条件に交通系ICカード(シルバーエミカ)を交付している。シルバーエミカは、1ポイント1円相当で三重交通グループの路線バスの運賃支払いに利用でき、毎年2000ポイントを上限に付与される。また、市内のコミュニティバスでは、提示するだけで無料乗車が可能となり、高齢者の外出を促進する。バス以外の用途の拡大など、工夫の余地がある取り組みと感じた。

兵庫県神戸市

『オープンデータの蓄積、公開、活用によるまちづくりについて』

市民や事業者がICTを活用して地域課題を解決するオープンガバメント社会の構築を支援したオープンデータの蓄積・公開による行政運営を展開している。具体的な例として、民間と連携して、

課題。本市としては、公益性・公共性等を考え、対象者や助成内容を考える必要がある。

市民文教常任委員会

《7月24日～26日》

東京都杉並区

『児童青少年センターゆう杉並について』

「ゆう杉並」は、中高生のための施設であり、中学生による運営委員会の設置、自主企画事業への積極的な支援など先進的な取り組みを行っている。職員は保育士の常勤職員や、教員免許等を持つ嘱託職員が配置され、中高生に寄り添うという姿勢が伝わってきた。本市でも、中高生の居場所づくりとして参考になると考える。



視察の様子

一人暮らし高齢者の健康状態を遠隔でチェックする実証実験等を行っている。本市においては、ICTなどを活用し、歳出を抑制しながら市民福祉の向上を図る自治体運営について研究していくことが重要であると考えられる。



視察の様子

大阪府岸和田市

『合併入札(合冊)による競争性、公平性の向上について』

合併入札とは、関連性の高い2件以上の公共工事を1つにまとめて競争入札を行い、落札後に落札金額を分割して契約金額を算定し、それぞれで契約する方法である。

岸和田市は、平成25年より実施し、順調に推移している。本市においては、入札不調の解消を目的とした合併入札の導入について研究する必要があると考えられる。

新潟県糸魚川市

『糸魚川大規模火災について』

糸魚川大規模火災は、平成28年12月22日に発生し、延焼などにより約4万m²が燃える大規模な火災となった。災害救助法等の適用により国の支援が受けられ、復興が進められていた。平成29年8月に復興まちづくり計画を策定し、防災公園、市道拡幅、40mm口径の消火栓など、大火を二度と繰り返さない災害に強いまちを目標としている。改めて火災の怖さ、防火の重要性を実感した。

神奈川県大和市

『ご遺族支援コーナーの設置について』

大和市では、死亡時に伴う手続きが多岐にわたり、ご遺族の負担が大きいと感じていた。そこで、従来から実施していた終活支援事業を平成30年にリニューアルしたことに伴い、ご遺族支援コーナーを設置した。設置後、諸手続きの受付窓口が明確になり、専任の係員が案内することで、ご遺族の負担が軽減し手続き漏れが減少するなど時間の短縮が図られた。本市でも、ご遺族の負担を軽減するために検討するべきと考えられる。

福祉環境常任委員会

《7月17日～19日》

岡山県総社市

『障がい者千五百人雇用について』

特筆すべき特徴は、市・社会福祉協議会・ハローワークと連携し、就労先確保のため商工会議所と協定を結び、就労先のマッチングから生活までマンツーマンで支援をしている。それぞれが個別で動くより協働することで期待以上の成果がでていく。働くことは障害のある人が地域で自立した生活を送るための収入を得るのに必要不可欠であり、社会参加や生きがいにもつながると再認識した。障害の程度やライフスタイルに合わせた雇用・就労対策を行うべきだと考える。

広島県廿日市市

『はつかいちエネルギーグリーンセンターについて』

合併で3つの施設があったが老朽化等により同センターを建設。ごみ処理施設を作るというよりエネルギー回収型廃棄物処理施設という視点で建設されていた。売電で年間5500万円、隣接するガス会社に温水を売り年間2700

高校生 × 市議会 ～ 安城学園高校 ～

高校生とのコラボ企画第3弾！今回は安城学園高校美術部のみなさんから表紙作品を提供いただきました。実物の作品はととても迫力があって、細かな描写にも感心しきりでした。(8月1日訪問)

Q. 作品のテーマは？

A. ないです。個人の好きなように描いています。

Q. みなさん、画材はさまざまですが何を使ってるの？

A. アクリルや水彩が多いです。油絵もありますし、画材以外を使うこともあります。

Q. どれくらいの期間で描くの？

A. 学校では1年に2作品程度です。夏と冬に作品展があるので、それに向けて制作します。

Q. 議員は身近に感じない？

A. ポスターでみたことあるなっていうくらい。ツイッターでみたこともあります。



インタビュー

後列左から 石川さん 星さん 福士さん 石原さん
前列左から 小林さん 廣瀬さん 酒井さん 芝さん 倉地さん

12月定例会の開催予定

12月 2日(月)	開会
3日(火)	一般質問
4日(水)	一般質問
5日(木)	一般質問予備日
6日(金)	議案質疑
10日(火)	産業建設常任委員会
11日(水)	市民文教常任委員会
12日(木)	福祉環境常任委員会
13日(金)	総務企画常任委員会
19日(木)	閉会

KATCH放映(録画)

5日(木)	午後6時
10日(火)	午後6時
24日(火)	午後6時 ※

※会議を開催した場合のみ放映

地上デジタル11チャンネルで録画放映されます。

・開始時刻はいずれも午前10時からです。 ・請願、陳情の提出締切りは11月22日(金)です。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【問い合わせ】安城市議会事務局
〒446-8501 安城市桜町 18-23 / Tel.0566-71-2252 / Fax.0566-77-8200 Eメール: giji@city.anjo.lg.jp